

博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 成人看護学分野

科目コード：240023

ビジュアル看護社会実装演習 Practicum : Implementation Visual Nursing Skills

| | | | | | |
|---------------|---|-----|----|------|----|
| 担当教員 | 紺家 千津子、松本 勝、大橋 史弥 | | | | |
| 実務経験 | | | | | |
| 開講年次 | 1年次後期 | 単位数 | 4 | 授業形態 | 演習 |
| 必修・選択 | 選択 | 時間数 | 90 | | |
| Keywords | EBP、診療報酬、看護の質保証、看護実践の継続 | | | | |
| 学習目的・目標 | <p>目的：</p> <p>臨床にて可視化するアセスメント手法を実践し、EBPに基づくケア方法を立案する。さらに、立案したケア方法を臨床にて継続するための方策を検討する。また、国内外の文献抄読やフィールドワークを通して、特別研究へと有機的に連鎖させる。</p> <p>目標：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 個々で選定したテーマについてEBPを検索し、臨床適応の判断視点を抽出できる。2. 診療報酬・介護報酬について理解する。3. 看護の質の評価指標と、評価に必要なアセスメント視点を抽出できる。4. 臨床にて可視化するアセスメント法を実践し、その結果の基づきケア計画を立案できる。5. 臨床における看護技術の実装を妨げる課題を導き出し、課題解決策を提示できる | | | | |
| 授業計画・内容 | | | | | |
| 回 | 内容 | | | | |
| 1 | オリエンテーション | | | | |
| | 臨床における課題解決手法（PICO、PECO） | | | | |
| 2 | 抽出した課題に対するEBPの手順1：概要と自己の疑問に対するPICOの作成 | | | | |
| 3 | 抽出した課題に対するEBPの手順2：PICOを解決するための国内外の文献検索とクリティーク | | | | |
| 4-5 | 抽出した課題に対するEBPの手順3：国内外のガイドラインの検索とクリティーク | | | | |
| 6 | 抽出した課題に対するEBPの手順4：臨床適応の検討 | | | | |
| 7 | 抽出した課題に対するEBPの手順5：PICOの結果発表 | | | | |
| 8 | 看護に関連した診療報酬と介護報酬の現状 | | | | |
| 9 | フィールドワークに向けてのケア記録の作成 | | | | |
| 10-12 | 病院におけるフィールドワーク1：可視化するアセスメントの実施 | | | | |
| 13-14 | 見学事例のケア計画立案と提言資料の作成 | | | | |
| 15-17 | 病院におけるフィールドワーク2：ケア計画の提言 | | | | |
| 18-20 | 病院におけるフィールドワーク3：ケア計画の評価 | | | | |
| 21-24 | ケア計画を提言した事例の分析 | | | | |
| 25-28 | 臨床における看護技術の実装を妨げる課題の抽出 | | | | |
| 29-30 | 臨床における看護技術の実装を妨げる課題解決策の提言 | | | | |
| 教科書 | 授業時に資料を配布する | | | | |
| 参考図書等 | 改定 DESIGN-R®2020 コンセンサス・ドキュメント、照林社 褥瘡ガイドブック、照林社 スキン-ケア(皮膚裂傷)の予防と管理、照林社 IADベストプラクティス、照林社 「排尿自立支援加算」「外来排尿自立指導料」に関する手引き、照林社 看護のエコー、照林社 エコーによる直腸便貯留観察ベストプラクティス、照林社 | | | | |
| 評価指標 | レポート80%、ディスカッションの参加度20% | | | | |
| 関連科目 | 成人看護学特論、ビジュアル看護実践論、看護イノベーション特論 | | | | |
| 教員から学生へのメッセージ | フィールドワークで、修得したアセスメント技術をぜひ活用しましょう。さらに、看護実践を行う上で必要な管理的な視点も培いましょう。 | | | | |